

使用方法



1 スタイレットが外針ハンドルにきちんとセットされているか確認後、外針ハンドルをしっかり握り、針を骨髓腔に刺入します。(抵抗が小さくなることにより骨髓腔に入ったことが確認できます。)

2 骨髓腔へ挿入後、スタイレットを**まっすぐ手前に引抜きます。**

3 外針ハンドルを左右交互に反転させながら外針を少しずつ穿孔し、組織を外針内に取り入れます。



4 スティック(ピンク色)を外針内へ挿入し、取り入れた組織の先端にあたるまで進め、採取済み組織の長さが確認できます。**【注】この時スティックは強く押しすぎないようにしてください。**

※イメージ図

5 組織の長さを確認後、スティックを抜去し、シュアロック(白色)を外針ハンドルの根本まで完全に挿入します。**【注】換体の挫滅を防ぐため、シュアロックは回転させないでください。**

6 シュアロックを挿入したまま、外針ハンドルを360度回転させ、組織を切り離します。**【注】外針ハンドルとシュアロックは必ず一緒に回転させてください。**



7 外針ハンドルを左右交互にゆっくりと半回転させながら、穿孔部より外針を抜去します。

8 外針からシュアロックを抜き取ります。**【注】この時シュアロックは外針にしっかりと装着されているため、抜き取りの際は力を入れて抜いてください。**

9 シュアロックにスティックを挿入し、組織を押し出します。

※ご使用前に最新の添付文書をご確認ください。

製品規格

サイズ		品番
太さ	長さ	
8G	100mm	BTS-08100
	150mm	BTS-08150
11G	65mm	BTS-11065
	100mm	BTS-11100
13G	150mm	BTS-11150
	65mm	BTS-13065
	100mm	BTS-13100

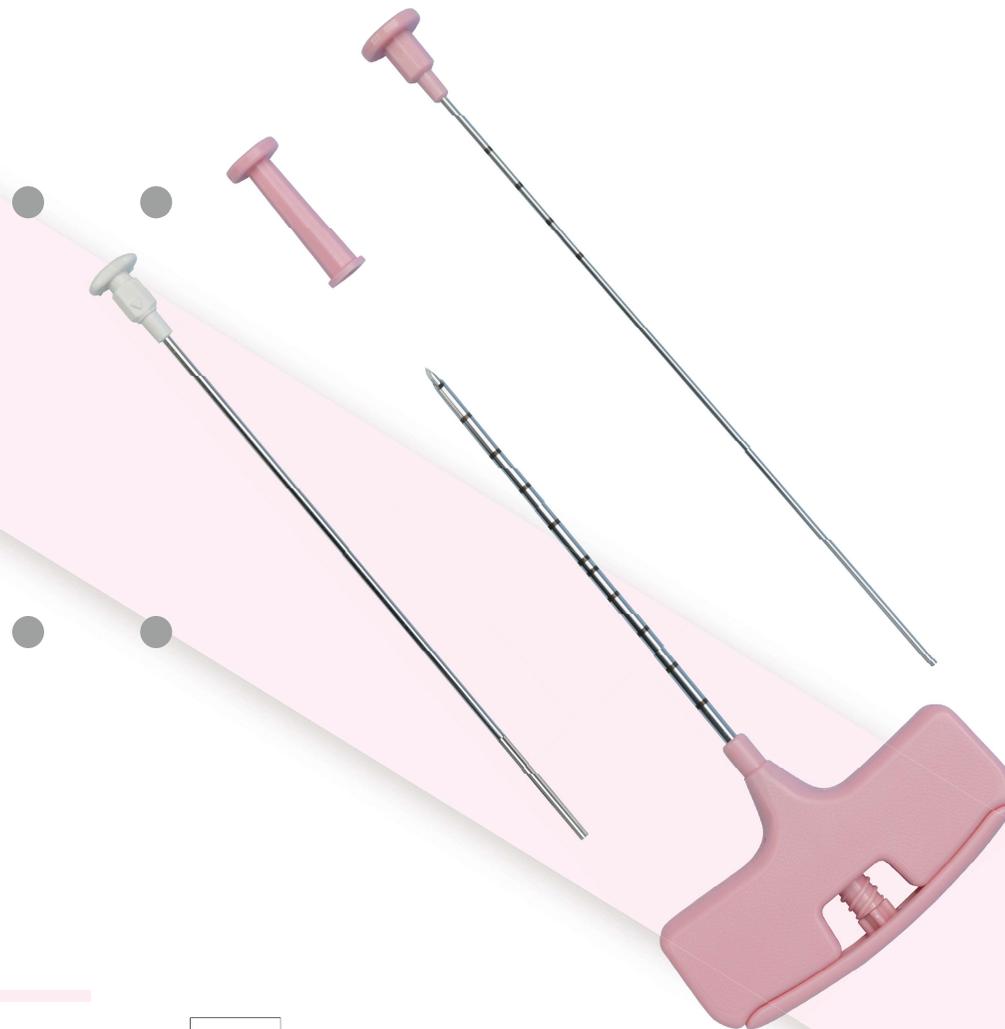


販売名: 骨髓生検針シュアロック
医療機器認証番号: 216008Z00508000
単回使用 クラスII 管理医療機器
ガンマ線滅菌 10本入り箱

こちらより製品説明動画をご覧いただけます。

SURELOCK

骨髓生検針シュアロック



SURELOCK

骨髓生検針シュアロック

骨髓生検針シュアロックは
タスク独自のシュアロックという特殊なパイプを用いることで、
従来の骨髓生検方法と比較し、
組織採取性を向上している骨髓生検針です。

組織を切り離す際に体内で針を前後左右に動かすという動作がないため、
傷口を最小限に抑え、患者様・施術者様の負担軽減に繋がります。

特長 シュアロック

外針に取り込んだ組織をキャッチし、
より組織採取性を向上しています。



骨髓穿刺吸引も可能

シリンジを装着し、
骨髓穿刺吸引も行えます。



スタイレット(内針)

外針ハンドルからまっすぐに引き抜く構造になっているため、
体内で内針先端が回らず、侵襲性を低減します。

外針ハンドル

ベストフィットハンドル。握りやすさを追求しました。

シュアロック

つまみ部分の形状と△マークで
直観的に開口方向が分かります。

スティック

セーフティーキャップ

自立型のセーフティーキャップです。
本体の刃先に装着し、手技後の針廃棄を
安全に行うことができます。

特長 マーカー

スティックのマーカーで手技の途中でも確認ができます。

